

エネルギーを考えたときに大切なこと



エネルギー政策の基本はS+3E

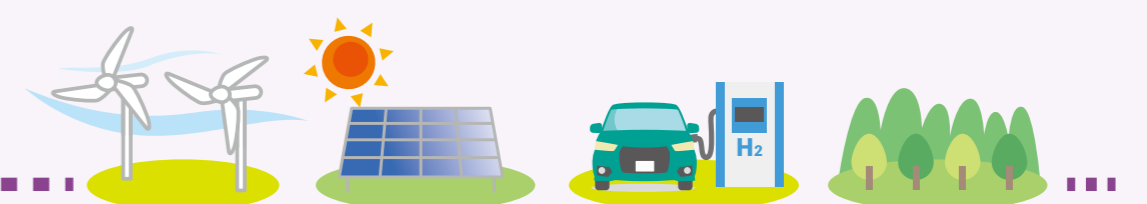
エネルギーは私たちの生活、経済活動にとってなくてはならないものです。資源の少ない日本にとってエネルギーのあり方「エネルギー政策」は国の将来を左右する大切な政策です。その基本方針が「S+3E」です。

安全性(Safety)を前提に、安定供給(Energy security)、を第一とし、経済効率(Economic efficiency)、環境への適合(Environment)の両立を図ることとしています。

S+3Eとは



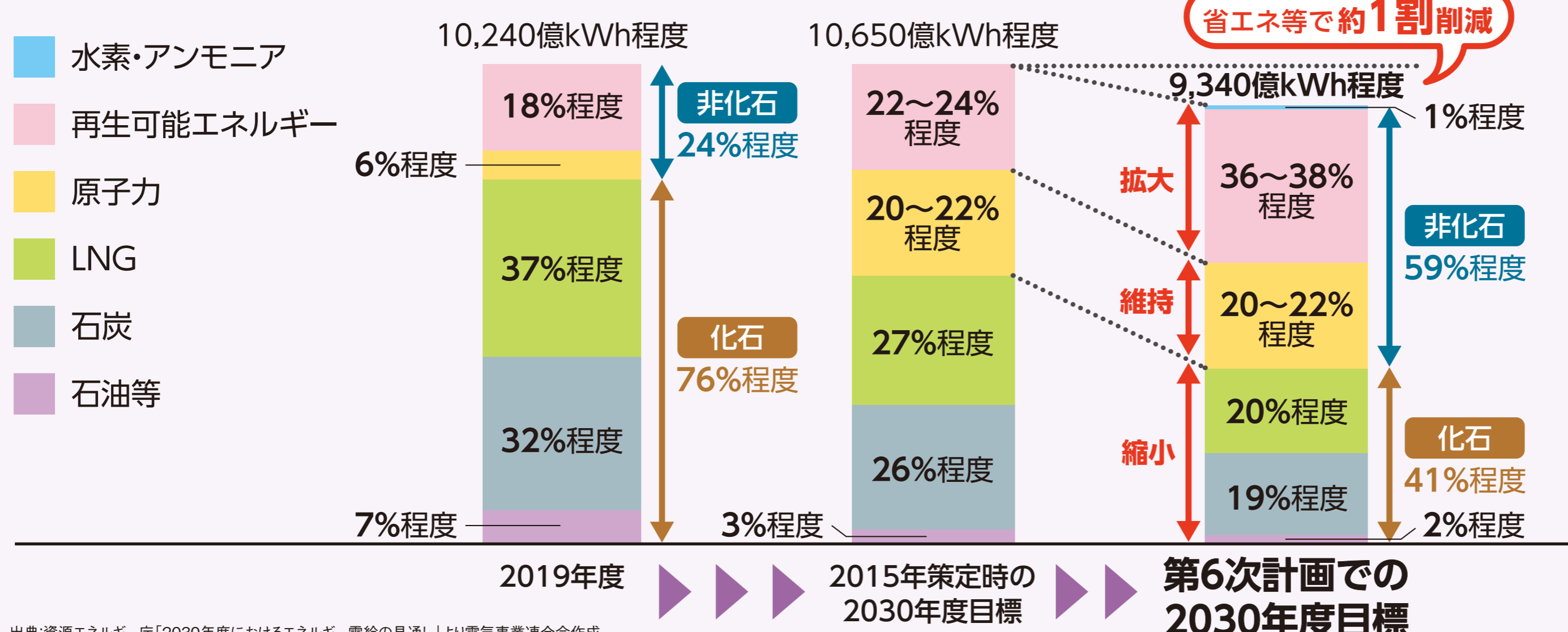
第6次エネルギー基本計画



2021年10月、第6次エネルギー基本計画において「2050年カーボンニュートラル」「2030年度の46%削減、さらに50%の高みをめざして挑戦を続ける新たな削減目標」の実現に向けたさまざまな取り組みが発表されました。

エネルギーを使う側の「徹底した省エネの追求」とともに2030年度の新たなエネルギーミックスをめざして「再エネの主力電源化・最大限導入」「原子力の安全最優先での再稼働」「水素供給量の引き上げ」などが掲げられています。

2030年度の電源構成



出典:資源エネルギー庁「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」より電気事業連合会作成

化石燃料を減らして再エネをさらに拡大・原子力を維持していくなだね。

